

<総合政策部長>

5 月 12 日から 31 日まで、愛知県も緊急事態宣言の対象地域となることが決定された。不要不急の外出自粛を始め、飲食店等の休業要請や営業時間短縮要請等、今までのまん延防止等重点措置から緊急事態措置へ変わること、措置の内容が強化されている。

<保健所長>

新型コロナウイルス感染症の現状は依然厳しく、新規陽性者数については、4 月 22 日以降の週は 75 人、29 日以降の週は 103 人。陽性率については、22 日以降の週は 9.7%、29 日以降の週は 17.5%と、ともに高い数値が出ている。市中感染が広まっているという見方もできるが、濃厚接触者の追跡が機能しているということでもある。

5 月 6 日時点での入院者数は 28 名、施設療養者は 17 名、死亡者は 4 名。

<危機管理課長>

緊急事態宣言の発出に伴う市の対応として、駅や各部署での注意喚起の掲示物や、放映する動画データを更新する。公共施設への対応については、遅くとも午後 8 時までの開館時間とし、貸館事業のキャンセル料については特例措置をとる。イベントの対応については、各種スポーツ大会をはじめ、中止あるいは延期とした（詳細は資料のとおり）。

<まちづくり部長>

バーベキュー広場については、愛知県の実施方針に則れば条件付きで開放するという選択肢もあるがどうか。

<保健所長>

隣接している岐阜県の方針を考慮すると、閉鎖するのが望ましいのではないか。

<まちづくり部長>

バーベキュー広場は閉鎖することとする。

ツインアーチ 138 の展望塔については、人数制限を設けて引き続き開館とする。また、ツインアーチ 138 のライトアップについては、「緊急事態宣言」周知のため、12 日より危険域を表わすレッド（ピンクで代用）に変更する（20 時まで）。

<総合政策部長>

緊急事態宣言に伴う市の対応について、従前の対応から変更がないものを除き、明日（5 月 11 日）に報道発表を行う。会議終了後、変更点があれば本日午後 3 時までに危機管理課へ報告を。

<市民健康部長>

高齢者向けのワクチン接種について、先般の施設での実施に続き、保健センターでの実施を今週末から開始する。

N T Tから、ワクチン接種予約電話の発信制限を設けるという発表があったが、現状よりもさらに繋がりにくくなるということではなく、自動音声が流れるようになったとのこと。コール音が鳴り続けて対応できないという現状よりは改善されたと考えられる。

ワクチン接種会場の増設を検討する件については、学校施設ではなく、医療機関を活用する方針とした。

新規陽性者数が1日20名を超える日が続いており保健所業務が逼迫してきているため、各部からの職員の応援について、近日中に依頼する。

<副市長>

ワクチン接種を実施する土曜・日曜の勤務体制については今一度検討すべきと考える。職員の時間外勤務だけで対応するのではなく、交通整理等の単純業務については、新たに人材を募ることを検討してはどうか。選挙事務や七夕まつりの運営等も同様に、雇用の創出を図ってみたいかどうか。

<市長>

保健所の業務やワクチン接種に関する事務等、人員の体制強化が急がれる。副市長の提案を念頭に、各職場においては、業務内容や人員の現状を把握し、職員派遣の目星をつけられたい。

緊急事態宣言の発出を受け、駅ビルへの掲示物に関する対応はどうか。

<総合政策部長>

前回の緊急事態宣言の発出時と同様、新規陽性者数等の掲示に向けて準備を進めている。

<教育長>

緊急事態宣言期間中に実施予定であった修学旅行や宿泊学習（キャンプ）については、すべて延期とした。

<保健所長>

愛知県は、ワクチン接種の大規模集団接種会場として、県営名古屋空港のターミナルビル及び藤田医科大学病院の2ヶ所を開設すると発表した。それぞれ会場の周辺市町が対象で、一宮市は対象外。

市内の医療機関でクラスターが発生したことを受け、「クラスター対策班」の出動を県へ要請した。愛知DMA T（災害派遣医療チーム）に属する医療従事者が派遣される予定で、ゾーニング等の対応を病院職員にもご教授いただける予定。